



市議会だより

2015.2.1
No.184

12月
定例会



市長提案26案件を承認・
可決、諮問のとおり決定

写真(湯田地区南口自治会「正月行事」 平成 27 年 1 月 1 日撮影)

CONTENTS

- 12月定例会の概要／議会日誌 …… ②
- 市政に関する質問 …… ③ ～ ⑧
- 意見書 …… ⑧
- 各常任委員会審査の概要 …… ⑨

- 審議結果／請願審査結果 …… ⑩
- リニア中央新幹線対策特別委員会
中間報告書 …… ⑪
- 議会運営委員会・
各常任委員会視察の状況 …… ⑫

12月定例会の概要

甲府市議会は、12月定例会を12月3日から15日までの13日間の日程で行いました。

平成26年度甲府市一般会計補正予算（第7号）、甲府市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例制定についてなど、市長から提案された26案件を審議し、すべて、原案のとおり承認・可決、諮問のとおり決定いたしました。

主な条例は、甲府市市営住宅条例の一部を改正する条例制定についてで、市営住宅の共同施設として駐車場を設置し、入居者等の利便を図るため改正を行うものです。

主な補正予算につきましては、ごみ処理施設建設事業費等に係る清掃費を更正するための経費となっています。

なお、「年金削減の中止、最低保障年金の実現を求める請願」については、不採択となりました。

12月定例会最終日における 宮島市長 あいさつ（要旨）

就任以来、「市政は市民のためにある」という決意を以って、甲府市の発展のため、全力を傾注してまいりました。

本市の市政運営の指針である「第五次甲府市総合計画」を策定するとともに、それぞれの任期において重点政策プラン「わ”の都・こうふプロジェクト」を策定し、諸課題に全身全霊で取り組み、次の世代に自信と誇りを持って引き継ぐことのできるまちづくりに、いくつかの種を蒔く役割を担うことができたことが、何よりもの喜びであります。

今後は、一人の市民として、愛してやまない甲府市の更なる飛躍を側面から支援し、市民の皆様、議会、行政が一体となって大輪の花を咲かせる姿を見守ってまいりたいと考えております。

結びに、これからの甲府市が名実ともに山梨県の県都としての誇りを持ち、限りない発展に向けて、弛むことなく進んでいくことを確信するとともに、皆様方の長きにわたるご支援、そしてご尽力、またご指導に心から重ねて感謝申し上げます。



議 会 日 誌

10月 8日(水)	民生文教委員会行政視察	11月21日(金)	議員互助会研修会、全員協議会(議員間討論)、リニア中央新幹線対策特別委員会
～10日(金)			
10月16日(木)	源泉所得税の未徴収と対応についての報告会(総務・民生文教・経済建設委員会)、リニア中央新幹線対策特別委員会	11月26日(水)	12月定例会招集告示
10月17日(金)	成都市友好都市交流事業	11月28日(金)	議会運営委員会、会派代表者会議
10月23日(木)	山梨県市議会議長会総会	12月 3日(水)	12月定例会開会、提案理由の説明
10月24日(金)	全員協議会(議員間討論)	12月 8日(月)	議会運営委員会
10月28日(火)	総務委員会行政視察、経済建設委員会	12月 9日(火)	本会議、質疑及び市政一般質問
～30日(木)	行政視察	12月10日(水)	議会運営委員会、各常任委員会付託、常任委員会(総務・民生文教)
11月 5日(水)	環境水道委員会行政視察	12月11日(木)	常任委員会(総務・民生文教)、会派代表者会議
～7日(金)			
11月12日(水)	環境水道委員会(所管事項調査)	12月12日(金)	常任委員会(経済建設・環境水道)
11月13日(木)	都道府県庁所在都市議長会総会	12月15日(月)	議会運営委員会、本会議、各常任委員長報告、討論、採決、リニア中央新幹線対策特別委員会中間報告、市長あいさつ、12月定例会閉会
11月14日(金)	リニア中央新幹線対策特別委員会視察		
11月17日(月)	議会運営委員会視察		
～19日(水)			



新政クラブ
代表質問（一問一答）
桜井 正富

シティプロモーションの 考え方や方向性について

質問Q シティプロモーションについては、本市の魅力を積極的に発信していく必要があると考えますが、他都市の取組状況の分析と、今後展開していくシティプロモーションの基本的な考え方や方向性についてお示しください。

答弁A 本市では、他都市の先進的な事例を随時把握するとともに、観光振興や商業振興、交流人口の増加など、関連する部署が、定期的に協議・調整を行う「シティプロモーション戦略会議」を組織し、その関連事業を効果的に情報発信することにより、シティプロモーションの推進に努めております。

今後については、県外への情報発信の機会をより強め、次期総合計画との整合性を図る中で、来年度中に本市における指針である「シティプロモーション戦略プラン」の見直しを行い、より効果的なシティプロモーションを推進してまいります。

空き家の実態調査の進捗 状況等と、今後の空き家 対策の方向性について

質問Q 本市が行っている空き家の実態調査の進捗状況等と、今後の空き家対策の方向性についてお伺いします。

答弁A 本年度実施している空き家の実態調査は、中心部を除く市内全域を対象に進め、11月末に終了し、本年度中にデータの整理を完了していく予定であります。また、昨年度実施した調査データを基に、中心部については、利活用できる部分への対応を進めているところであり、今回整理するデータについても、最善の管理・利活用が図れるよう関係部署と協議してまいります。

今後においても、国において空き家対策に関する法律が成立した状況を踏まえ、実態調査の検証結果を考察する中で、空き家等の適正管理条例の制定に向けた取組を進めるとともに、現行の庁内連絡会議の組織体制の充実等、総合的な対応策を継続的に検討してまいります。

■その他の質問項目

- ・市長の政治姿勢について
- ・「歴史物語都市こうふ」について



公明党
代表質問（一問一答）
植田 年美

魅力ある子育て支援の拠 点づくりについて

質問Q 若い世代がこの甲府のまちに住み、子育てしながら住み続けたいと思うためには、魅力ある子育て支援の拠点が必要だと強く感じていますが、お考えをお示しください。

答弁A 本市におきましては、次代を担う子どもたちを「市民の宝」として位置付け、「甲府市次世代育成支援行動計画（後期計画）」に基づき、その健全な成長を支援する様々な分野にわたる施策の総合的かつ着実な推進に努めているところであります。

魅力ある子育て支援の拠点づくりにつきましましては、地域全体で子育てを支援する観点から、既存の施設等を活用する中で、幼児教育センターや地域子育て支援センターなどのサービスの充実を図りながら、子育て世代のニーズに対応した子育て支援に努めてまいります。

消費生活センターへの相 談状況と周知について

質問Q 消費生活センターに寄せられた相談状況と、これまでの取組や今後の周知方法と計画についてお聞かせください。

答弁A 本市の消費生活に関する相談件数は年々増加しており、最近の相談内容の傾向については、架空請求や健康食品などを強引に送り付ける商法、投資商品のトラブルなどに関する相談が多く寄せられています。本市では、平成21年に「甲府市消費生活センター」を設置し、消費生活に関する相談や消費者出前講座を開催するとともに、高齢者を見守るための活動として、地域包括支援センターや民生児童委員との情報交換なども行っています。今後においても、自治会、警察、県などの関係機関と連携を密に図り、消費者保護と消費者意識の啓発に努めるとともに、消費生活センターを積極的に利用していただけるよう広く周知を図ってまいります。

■その他の質問項目

- ・読書履歴の記録による読書活動の推進について
- ・中学3年生までの医療費無料化について



日本共産党
代表質問（一括）

石原 剛

水道料金の値下げによる 市民負担の軽減について

質問 Q

水道会計は、昨年度約1億円黒字が増加しており、老朽管の布設替えや耐震化の促進を進めつつ、料金の値下げも可能ではないでしょうか。市民負担軽減策のひとつとして、水道料金の値下げについて見解を求めます。

答弁 A

平成27年度以降の適正な現行の水道料金につきましては、平成26年6月に「甲府市水道料金等審議会」に諮問し、10月末に答申としていただいたところ。答申の内容は、水道料金の算定期間を平成27年度から平成29年度までの3か年と定め、水道料金の総額及び体系については、改定の必要がないというものであります。また、付帯意見として、水質管理・危機管理の充実、施設の耐震化、新エネルギー対策等に努めるよう、要望があったところです。

こうしたことから、水道料金の見直しにつきましては、答申及び付帯意見を最大限尊重する中で、慎重に判断してまいりたいと考えております。

地域公共交通について

質問 Q

新潟県三条市では、タクシー車両を利用した新しい交通手段であるデマンド交通を導入し、好評を得ていますが、本市における公共交通の空白を作らない対策について当局の見解をお伺いします。

答弁 A

宮本地区では今年度4月から「買物・通院等送迎事業」の試行運行を開始したところであり、上九一色地区においても公共交通問題に対し、検討する協議会が立ち上がり、持続可能な交通手段について検討を進めているところであります。

今後につきましても、地域に合った交通体系を地域住民が主体となつて考えていくという意識の醸成を図り、先進事例などを参考にすることで、新たな交通体系の実現に向けて取り組んでまいります。

その他の質問項目

・住宅リフォーム助成制度の拡充について



こうふクラブ
代表質問（一問一答）

山田 弘之

障がい者と障がい児の移動・外出の支援について

質問 Q

障がい者と障がい児の移動・外出支援については、要望の高い車両移送型支援の併用も含めた見直しの検討と、タクシー利用料金助成事業のタクシー利用券の利用率の向上に向けた調査改善も必要だと考えますが、当局のお考えをお聞かせください。

答弁 A

移動困難な障がい者と障がい児に対しまして外出時の支援を充実させることは必要なことと認識しております。

本市の移動支援事業のあり方については、今後、甲府市地域自立支援協議会において調査研究されている車両移送型の移動支援も含めて検討するとともに、実施事業を総合的に検討し、充実してまいりたいと考えています。なお、タクシー利用料金助成事業については、平成25年度のタクシー券利用枚数は1万8,875枚と多く

の障がい者の方にご利用していただいておりますが、広報誌やホームページなどを通じてより一層、事業の周知に努めてまいります。

消防団の消防ポンプ自動車の公費購入について

質問 Q

消防団の消防ポンプ自動車については、できるだけ早く公費購入に移行していただきたいと思いますが、お考えをお聞かせください。

答弁 A

本市では、現在、消防団の小型動力ポンプ及び積載車については毎年各4台を公費購入して更新を行い、また、消防ポンプ自動車については、地域の負担と本市の補助金により整備を行っております。今後においては、更なる消防団の強化・充実を図るため、消防ポンプ自動車の購入については、平成27年度から補助金額を段階的に引き上げる経過措置を設け、平成31年度から全額公費購入へ切り替えてまいりたいと考えています。

その他の質問項目

・堂の山青少年キャンプ場の整備について
・青少年育成甲府市民会議の補助金と賛助会費について



政友クラブ
代表質問（一括）

荻原 隆宏

中心市街地活性化政策パッケージ（宮島ビジョン）について

質問 Q 「歴史物語都市こうふ」の実現を目指して策定された宮島ビジョンを今後どのように実現させていくのでしょうか。

天守閣の建設やリニア開業も見据えた公共交通の機能強化などの視点も必要と考えますが、見解をお伺いします。

答弁 A 天守閣の建設については、研究の進展や関係者等の動向を見守る中で、史跡としての付加価値を高めて、賑わいに繋げられるよう「お城フロント」などの周辺整備にスピード感を持って取り組むべきと考えています。

同時に、リニア開業の効果を中心市街地活性化へと繋げていくためには、中心市街地の魅力と求心力を高めることを前提に、リニア駅とのアクセスを強化して、新たな交流と回遊を生み出していくことが重要であります。

なお、この政策パッケージは市

長就任前から抱いていた甲府市の未来像を実現するための道筋を示したものです。今後においても、大きなチャンスをしっかり捉え、中心市街地活性化を成し遂げてほしいと思います。

中核市への移行について

質問 Q 中核市への移行については、保健所設置など多くの課題もありますが、よりきめ

細かな住民サービスの提供が可能になるなど大きなメリットもあります。前向きに取り組むべきと考えますが、宮島市長のお考えをお示しください。

答弁 A 中核市への移行については、1,700を超える

事務の移譲や、保健所の設置など多くの課題があるものの、保健衛生分野を始め、福祉、環境、教育等の分野において市民サービスの充実が図られるものと考えます。多角的な検討も必要ですが、私としては、市民に直接的なサービスが充実することから、中核市移行への多くの課題を克服していただきたいと考えています。

その他の質問項目

- ・有害鳥獣対策及びジビエについて
- ・創業支援について

他



公明党
一般質問（一問一答）

佐野 弘仁

中心市街地の「ありたき姿」について

質問 Q 本市として思い描く「街の顔としての甲府の景観」

や、武田信玄公から500年続く「歴史物語都市こうふの実現」などの「ありたき姿」について、宮島市長の想いとして甲府の未来予想や展望について見解をお示しください。

答弁 A 本市におきまして、平成26年8月末に公表した

「中心市街地活性化政策パッケージ」では、中心市街地に人を惹きつけるための魅力と賑わいのある拠点づくりや、中心市街地を歩いてもらうための回遊機能の整備という基本方針のもと、「歴史物語都市こうふ」の実現を目指すこととしました。この政策パッケージは、中心市街地の過去から現在の取組を繋ぎ合わせ、そして未来への道筋を提唱したものであります。が、中心市街地活性化基本計画と連動させることで、効率的で効果的な施策展開が可能になるものと

考えています。開府500年や東京オリンピック開催などをまたないチャンスと捉え、中心市街地を魅力と賑わいにあふれた「ありたき姿」に再生していくことが、今を生きる私達の責務と考えています。

コンパクトシティについて

質問 Q 地域の活性化と高齢者・弱者対策、土地の計画的開発も可能とするコンパクトシティ

構想での施策は、今後のまちづくりを進めるうえで価値は大きいと思いますが、見解をお伺いします。

答弁 A 本市が中核的な都市と

するためには、医療、福祉、商業などの都市機能を適正に誘導集約するとともに、公共交通の充実を図る施策の推進が重要であると考えております。次期総合計画との整合性を図る中で、甲府市都市計画マスタープランにおいて、コンパクトで計画的かつ効率的なまちづくりの方針を示してまいります。

その他の質問項目

- ・中心市街地と周辺地域の連携による活性化について
- ・市街地調整区域における開発について

他



日本共産党
一般質問（一括）

清水 英知

高校3年生までの医療費無料化について

質問 すこやか子育て医療費助成制度については、本市が子育て先進都市を目指すのであれば、県内及び全国でもすでに多数派となっている中学生までの無料化にとどまらず、高校生までの無料化に踏み切るべきと考えますが、見解を求めます。

回答 現在、本市のすこやか子育て医療費助成事業は小学6年生までの医療費を無料化しています。今後においても、持続可能で安定的かつ効果的に運営できますよう取り組んでまいります。本事業の高校3年生までの医療費無料化については、平成27年4月から本格施行が予定されている「子ども・子育て支援新制度」による子育て関連施策とともに、子育て世代への支援策の一つとして、引き続き様々な面から研究し、子どもを安心して産み育てられる環境づくりに努めてまいります。

重度心身障がい児に対する医療費助成について

質問 「すこやか子育て医療費助成制度」の対象となる小学生以下の重度心身障がい児にも窓口負担が生じたことについて「理解できない」など、強い不満の声が上がっています。窓口無料方式を復活させるべきと考えますが、当局の見解をお伺いします。

回答 重度心身障がい者の医療費助成方法については、県及び県内全市町村で統一した考えのもと、受給者や県内医療機関等へ周知・説明を行うとともに、移行に伴うシステム改修や受給者の方々にも変更手続きをしていただき自動還付方式へ移行したものです。本市だけが窓口無料方式を実施した場合に、県内医療機関に混乱をきたすことが想定されるため、現時点では、制度を取り巻く状況が変わらない限り、本市独自で助成方法の例外規定を設け、実施していくことは考えておりません。

■その他の質問項目

- ・高齢者医療費助成制度について
- ・介護保険制度について



政友クラブ
一般質問（一問一答）

原田 洋二

カラス対策及び鳥インフルエンザへの対応について

質問 中心街で多く見るようになったカラスへの本市の対策と、鳥インフルエンザへの対応についてお伺いします。

回答 本市におきましては、カラスの飛来防止策として、ライトによる追い払いを行うとともに本庁舎及び穴切庁舎の屋上での檻による捕獲に取り組んでいるところであり、今後の対策としましては、生息地での捕獲檻による個体数調整、駅構内や送電施設などに作られる巣や卵の撤去、更に、本市周辺の市や町への連携駆除の要請、専門家による生態調査などに取り組んでまいります。また、野鳥における鳥インフルエンザの対応については、今後とも引き続き県と連携し、監視体制の強化に努めるとともに、市民の皆様が死亡野鳥等を発見した場合は、県又は市へ連絡していただく

福祉センターの利用時間の延長について

質問 福祉センターの利便性を向上させるため、浴室の利用時間を延長する見直しが必要であると考えますが、当局の考えをお示しください。

回答 福祉センターは、利用者が快適に過ごしていただく場でもありますことから、浴室を含む館内の清掃など、利用者全員が退館後でないと実施できない多くの作業があります。このことから、福祉センターの利用時間は、午後4時までとなっておりますが、着替えの時間等も考慮する中で浴室の利用は午後3時30分までとさせていただいております。今後につきましては、利用状況の分析や利用者のご意見などを十分に伺う中で、利用しやすい施設運営となるよう研究してまいります。

■その他の質問項目

- ・市立甲府病院の診療費の未払いについて
- ・春日通りの整備について



政友クラブ
一般質問（一問一答）

岡 政吉

水痘ワクチン接種の経過措置者への助成について

質問 Q

3・4歳児の水痘ワクチン接種について、該当年齢児であつても平成26年10月1日以前に接種した場合は対象外となるため、経過措置者への追加助成が必要と考えますが、見解をお聞きます。

答 弁 A

水痘ワクチン接種については、定期接種の導入初年度の本年度に限り、罹患歴及び水痘ワクチンの接種歴の無い、生後36月から生後60月未満の3・4歳児を対象に、定期接種として1回の注射を行う経過措置が設けられたところであります。本市としましては、次代を担う子ども達を感染症から守り、健やかな育ちを支える役割を果たすため、経過措置者に該当する3・4歳児を対象とした、水痘ワクチンの追加接種への助成につきまして、他都市の動向等を調査研究するとともに、県や市長会を通じて、国へ

の要望を行ってまいります。

震災時の火災対応について

質問 Q

防火水槽の補強の進捗状況と、中心街における震災時の火災の消火活動についてお伺いします。

答 弁 A

市内の道路下防火水槽につきましては、老朽レベルに応じて優先的に補修を進め、今年度までに61基のうち、21基の補修等が完了しており、引き続き、改修計画に基づき、毎年5基の補修を実施してまいります。また、耐震性貯水槽についても、消防水利整備計画で目標としている139基のうち、109基の設置が今年度までに完了しており、引き続き、毎年2基ずつを設置していく予定であります。更に、中心市街地における火災の消火活動につきましては、耐震性貯水槽や中心部に多く設置されている防火水槽のほか、舞鶴城公園の堀や周辺河川などを消防水利として活用してまいります。

その他の質問項目

- ・小中一貫教育について
- ・登山道の整備と登山計画書受け箱設置について

他



政友クラブ
一般質問（一問一答）

長沼 達彦

子ども・子育て支援新制度における本市の準備状況について

質問 Q

子ども・子育て支援新制度が平成27年4月より本格実施されますが、地域のニーズに基づき計画を策定、給付・事業を実施することについて本市の準備状況をお伺いします。

答 弁 A

本市では、計画策定に当たり、「甲府市子ども・子育て会議」を平成25年8月に設置し、様々なご意見をいただく中で、「甲府市子ども・子育て支援計画」の今年度中の策定に向けて鋭意取り組んでおります。今後、約1か月をかけてパブリックコメントを実施し、市民のご意見を採り入れる中で計画を策定してまいります。また、給付・事業につきましては、保育所・幼稚園などにおける利用者負担の確定、新制度における教育・保育施設を運営する事業者の認可及び確認、並びに保育所等の申請受付を行うなど、「子ども・子育て支援新制度」の

平成27年4月からの本格実施に向けて、着実に準備を進めています。

バリアフリー教育の充実について

質問 Q

小中学生の教育の一環として、バリアフリー教育の充実のため、市民と学校とが連携した協働作業が必要と考え、積極的な取組を求めますが、見解をお伺いします。

答 弁 A

本市では、甲府市学校教育指導重点目標に「思い遣る心」の育成を掲げ、全小中学校において、道德の時間をはじめ、教育活動全体を通して、その育成に努めております。ご指摘のバリアフリーの考え方は、福祉や医療、建築などの分野だけの課題ではなく、すべての人々が、日頃から身に付けておかねばならないものと認識しております。今後、福祉教育の充実を図るとともに、共生の社会づくりに貢献できる素地を培う教育を地域等との連携も図りつつ、推進してまいります。

その他の質問項目

- ・放置自転車対策について
- ・「空家等対策の推進に関する特別措置法」成立後の本市の方針について

他



維新の党
一般質問（一括）

飯島 正樹

小学校教育におけるラジオ体操の実施について

質問

子どもにラジオ体操を習慣づけることは健康保持や体力向上の効果があるため、全ての小学校の日常授業においてラジオ体操を実施すべきと考えますが、見解をお聞かせください。

答弁

現在、多くの小学校では、体育の授業において、準備運動として、ラジオ体操を構成している様々な動きの要素を取り入れながら、学校独自に創作した体操やストレッチ体操、体ほぐし運動などを行い、児童が体を動かすことの楽しさや喜びを味わえるような工夫をしております。教育委員会としては、健康の保持増進と体力向上が図られますよう、また、準備運動などとして、ラジオ体操を含めた様々な体操を採用入れることにより、けがの防止などに配慮するよう、改めて指導してまいります。

甲府市地方卸売市場の機能と施設規模について

質問

甲府市地方卸売市場の取扱数量が減少している中で、市場機能や施設規模の抜本的な見直し改革が必要と考えますが、ご所見をお伺いします。

答弁

「甲府市中央卸売市場見直し計画」及び「第9次甲府市中央卸売市場整備計画」の2つの計画については、平成27年度が計画の最終年度でありますので、「見直し計画」に位置付けた地方卸売市場への転換、施設整備に関する事項、指定管理者制度の導入、資産活用などの各種事業や、「整備計画」に位置付けた卸売場などの修繕計画、卸事務所棟の耐震計画、市場冷蔵庫などの機能強化計画の評価・点検を行ってまいります。また、これらの評価・点検結果や現在の市場の経営状況などを総合的に勘案するとともに、次期の国の卸売市場整備方針及び県の卸売市場整備計画の内容と整合性を図りながら、平成28年度を初年度とする新たな整備計画を策定する予定です。

その他の質問項目

・賑わいのある市場づくりについて

意見書

○暴力団抗争における銃犯罪の撲滅等による安心安全な社会づくりを求める意見書（抜粋）

山梨県内では、2011年5月に分裂した暴力団同士の抗争により、中心市街地において暴力事件が多発し、2012年11月以降は、抗争に端を発したとみられる発砲事件が続発、また今年においても、中心市街地で集団暴行により暴力団員5人が逮捕されるなど、市民に大きな不安と恐怖を与え、安全で平穏な市民生活に悪影響を及ぼしている状況が続いている。

〈中略〉

そのような中で、12月6日には甲府市上曾根町の中央自動車道甲府南インターチェンジ付近において、暴力団員が関係したとみられる発砲事件や車両が炎上する事件が発生した。

〈中略〉

周辺には小中学校があることから、児童生徒にも危害が及ぶ可能性もあり、事件を受けて学校では、保護者や教員による登下校時の見守り、安全確保を余儀なくされているところである。



山梨県警察本部へ意見書提出（平成26年12月25日）

安全で安心な市民生活や健全な経済発展を確保していくためには、社会全体で暴力を追放していく歩みを踏み出すことが大事であることから、市民、警察、行政、議会等がさらに連携を強め、暴力団の脅威にひるむことなく、地域一丸となって全力で邁進する必要がある。

提出先

山梨県警察本部長

各常任委員会審査の概要

常任委員長
報告要旨

予算や条例など付託案件の審査で出された主な経過等の概要です。

民生文教委員会

◆議案第96号 専決処分について（医療事故に係る損害賠償の額の決定について）

全員異議なく当局原案のとおり承認するものと決しましたが、今後も未然に医療事故の防止に努めるよう求める意見がありました。

◆議案第104号 甲府市中道YLO会館条例を廃止する条例制定について

全員異議なく当局原案のとおり可決するものと決しましたが、地元住民の利便性の確保を検討するよう求める意見がありました。



総務委員会

◆議案第110号 平成26年度甲府市一般会計補正予算（第8号）

◆議案第114号 議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例制定について

2案については、多様な市民の声を考慮すると期末手当を引き上げることには反対であるとの意見と、職員や特別職との均衡を図る中で期末手当を引き上げることには賛成であるとの意見があり、採決の結果、いずれも多数をもって当局原案のとおり可決するものと決しました。



●請願第26-15号 年金削減の中止、最低保障年金の実現を求める請願

年金給付削減などによる不安を解消するための年金制度の改善を求めるものであるため採択すべきであるとの意見と、無年金者に対しても一律に年金を支給することは、公平性に欠けるため不採択とすべきであるとの意見があり、採決の結果、不採択とするものと決しました。

環境水道委員会

◆議案第109号 指定管理者の指定について（甲府市リサイクルプラザ）

◆議案第112号 平成26年度甲府市古閑・梯町簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）

◆議案第113号 平成26年度甲府市浄化槽事業特別会計補正予算（第1号）

◆議案第98号 平成26年度甲府市一般会計補正予算（第7号）中当委員会所管分

4案については、いずれも全員異議なく当局原案のとおり可決するものと決しました。

経済建設委員会

◆議案第106号 甲府市市営住宅条例の一部を改正する条例制定について

◆議案第98号 平成26年度甲府市一般会計補正予算（第7号）中当委員会所管分

2案については、市営住宅駐車場の有料化は、入居者に対し新たな負担を強いるものであるため反対であるとの意見がありましたが、採決の結果、いずれも多数をもって当局原案のとおり可決するものと決しました。

平成26年12月定例会審議結果

	件 名 等	議決月日	結 果	政 友 クラブ	新 政 クラブ	公明党	日 本 共産党	こうふ クラブ	維 新 の 党	無所属
議案第95号	専決処分について(平成26年度甲府市一般会計補正予算(第5号))	12月15日	承 認	○	○	○	○	○	○	○
議案第96号	専決処分について(医療事故に係る損害賠償の額の決定について)	//	//	○	○	○	○	○	○	○
議案第97号	専決処分について(平成26年度甲府市一般会計補正予算(第6号))	//	//	○	○	○	○	○	○	○
議案第98号	平成26年度甲府市一般会計補正予算(第7号)	//	可 決	○	○	○	×	×	○	○
議案第99号	平成26年度甲府市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)	//	//	○	○	○	○	○	○	○
議案第100号	平成26年度甲府市地方卸売市場事業会計補正予算(第1号)	//	//	○	○	○	○	○	○	○
議案第101号	甲府市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例制定について	//	//	○	○	○	○	○	○	○
議案第102号	甲府市包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例制定について	//	//	○	○	○	○	○	○	○
議案第103号	甲府市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例制定について	//	//	○	○	○	○	○	○	○
議案第104号	甲府市中道YLO会館条例を廃止する条例制定について	//	//	○	○	○	○	○	○	○
議案第105号	甲府市指定地域密着型サービス事業者及び甲府市指定地域密着型介護予防サービス事業者の指定に関する基準のうち、申請者の法人格の有無に係る基準を定める条例の一部を改正する条例制定について	//	//	○	○	○	○	○	○	○
議案第106号	甲府市市営住宅条例の一部を改正する条例制定について	//	//	○	○	○	×	×	○	○
議案第107号	指定管理者の指定について(玉諸悠遊館)	//	//	○	○	○	○	○	○	○
議案第108号	指定管理者の指定について(甲府市地方卸売市場)	//	//	○	○	○	○	○	○	○
議案第109号	指定管理者の指定について(甲府市リサイクルプラザ)	//	//	○	○	○	○	○	○	○
議案第110号	平成26年度甲府市一般会計補正予算(第8号)	//	//	○	○	○	×	○	×	○
議案第111号	平成26年度甲府市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)	//	//	○	○	○	○	○	×	○
議案第112号	平成26年度甲府市古閑・梯町簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)	//	//	○	○	○	○	○	×	○
議案第113号	平成26年度甲府市浄化槽事業特別会計補正予算(第1号)	//	//	○	○	○	○	○	×	○
議案第114号	議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例制定について	//	//	○	○	○	×	○	×	○
議案第115号	甲府市職員給与条例等の一部を改正する条例制定について	//	//	○	○	○	○	○	×	○
議案第116号	特別職の職員で常勤のものの期末手当に関する条例の一部を改正する条例制定について	//	//	○	○	○	○	○	×	○
議案第117号	甲府市国民健康保険条例の一部を改正する条例制定について	//	//	○	○	○	○	○	○	○
議案第118号	教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例制定について	//	//	○	○	○	○	○	×	○
議案第119号	甲府市学校職員給与条例の一部を改正する条例制定について	//	//	○	○	○	○	○	×	○
諮 問 第 6 号	人権擁護委員候補者の推薦について	//	諮問のとおり決定	○	○	○	○	○	○	○
甲議第15号	暴力団抗争における銃犯罪の撲滅等による安心安全な社会づくりを求める意見書提出について	//	可 決	○	○	○	○	○	○	○

※新政クラブのうち野中一二議員と興石 修議員の2名は、一身上の都合により12月15日欠席

○賛成・×反対

政友クラブ ◎清水 保 森沢幸夫 斉藤憲二 佐藤茂樹 荻原隆宏 池谷陸雄 原田洋二 大塚義久 廣瀬集一
鈴木 篤 岡 政吉 坂本信康 長沼達彦 石原秀一
新政クラブ ◎桜井正富 金丸三郎 清水 仁 興石 修 山中和男
公 明 党 ◎兵道顕司 植田年美 中村明彦 佐野弘仁 長沢達也
日本共産党 ◎石原 剛 内藤司朗 清水英知
こうふクラブ ◎山田 厚 山田弘之
維 新 の 党 飯島正樹
無 所 属 神山玄太 ◎は会派代表者

人事案件については、
次のとおり、諮問のとおり決定されました。
◆人権擁護委員候補者の推薦について
望月和子 (敬称略)

平成26年12月定例会請願審査結果

	番 号	件 名	付託委員会	結 果
請 願	第26-6号	年金削減の中止、最低保障年金の実現を求める請願	総 務	取下げ(承認)
	第26-8号	「医療・介護総合法案」撤回と安心できる介護制度を国に求める意見書に関する請願	民生文教	//
	第26-15号	年金削減の中止、最低保障年金の実現を求める請願	総 務	不 採 択
	第26-4号	集団的自衛権行使容認に反対する意見書提出を求める請願	総 務	継続審査
	第26-5号	憲法解釈変更による集団的自衛権行使容認に反対する意見書提出を求める請願	//	//
	第26-10号	米軍が北富士演習場でオスプレイの離着陸訓練を行わないよう関係機関に意見書を提出することを求める請願	//	//
	第26-11号	消費税増税の撤回を求める意見書提出を求める請願	//	//
	第26-14号	市立甲府病院の放射性医薬品過剰投与問題に関する早期解決の請願	//	//
	第25-3号	甲府市の給食食材の安全性に関する請願	民生文教	//
	第23-5号	国に原子力政策の転換を求める請願	環境水道	//
	第23-6号	浜岡原発の永久停止と再生可能エネルギーへの転換、促進を求める意見書提出を求める請願	//	//
	第23-7号	浜岡原子力発電所を廃炉にすることの意見書を求める請願	//	//

中間報告書〈要旨〉

○リニア中央新幹線対策特別委員会

本委員会は、平成24年3月定例会において設置され、今日までリニア中央新幹線及び本市の総合交通体系に関する諸課題について調査活動を進めてまいりました。

以下、平成25年3月定例会における中間報告以降の本委員会の主な調査活動につきまして、ご報告申し上げます。

平成25年10月10日の委員会においては、まず、JR東海が環境影響評価準備書の中で公表したリニア駅の設置箇所、ルートについて、当局から説明がありました。

これに対し、委員から、電磁波、騒音及び日照等の問題について、地域の要望がかなえられる方針を立てるよう求める意見がありました。

次に、平成26年度中に策定される山梨県リニア駅周辺整備基本方針について、当局から説明がありました。

これに対し、委員からの主な要望・意見は次のとおりです。

- 一 防音防炎フード及び防音壁については、景観や色彩に配慮すること。
- 一 水害対策についての対応を図ること。
- 一 JR身延線の活用とバスネットワークについて検討すること。

平成25年11月13日及び14日は、青森県青森市及び八戸市を視察しました。

青森市においては、新幹線駅周辺のまちづくりと交通アクセスについて、八戸市においては、中心市街地と駅周辺のまちづくりについて、それぞれ調査を行いました。

平成26年2月4日の委員会においては、山梨県リニア駅周辺整備基本方針に盛り込まれるリニア駅周辺地区に導入する機能の整備方針及び規模について、当局から説明がありました。

これに対し、委員からの主な要望・意見は次のとおりです。

- 一 大規模商業施設等の立地規制については、地域の意見も踏まえて検討すること。
- 一 産業振興機能については、慎重に企業誘致に取り組むよう働きかけること。
- 一 インフラ整備の規模が過大とならないように各機能を整備すること。

調整池については、水害対策施設としてだけでなく憩いの場としての活用も検討すること。

一 賑わいが創出できるようフットボール専用スタジアムの建設を検討すること。

平成26年8月22日の委員会においては、山梨県リニア駅周辺整備基本方針として、リニア駅周辺の交通アクセスの整備方針、産業振興機能エリアの基本的な考え方、用地面積が明らかにリニア駅周辺地区の規模が合計約24ヘクタールとなったこと、ゾーニング案として2案の選択肢に絞りこまれたこと、展望施設の整備のあり方及び導入機能の整備手法等について検討していることが、当局から説明がありました。

これに対し、委員からの主な要望・意見は次のとおりです。

- 一 本市での議論を深めて、JR東海及び山梨県等の関係機関に本市の意見を反映させるよう努めること。
- 一 本市独自の機能整備の提案や近隣市との連携を図る施策を検討すること。
- 一 展望施設については、周辺施設に配慮すること。

平成26年10月16日の委員会においては、まず、リニア中央新幹線関連のスケジュール等について、当局から説明がありました。

これに対し委員から、沿線地区住民に対して丁寧な対応を求める意見がありました。

次に、山梨県リニア駅周辺整備基本方針

について、委員間において意見交換会を行いました。主な意見・要望は次のとおりです。

- 一 リニア駅周辺の防災及び地盤沈下に係る情報を収集すること。
- 一 駅舎の商業施設利用者を中心商店街へ誘導する等、まちづくりを含めて検討すること。

一 産業振興機能については、現在ある田畑を利用するとともに水害対策の面からも観光農園が望ましいこと。

一 リニア駅周辺整備の対象となる農地には、農業の継続が可能となるような代替地を用意するように関係機関に働きかけること。

一 リニア駅周辺整備に関して本市独自の市民意向調査を検討すること。

一 市道大津2号線と国道358号線のアkses道路等、リニア駅周辺の道路整備について、山梨県へ働きかけること。

一 フットボール専用スタジアムに関して本市で独自調査を検討すること。

一 展望施設の整備については、その必要性や安全性を検討すること。

一 当委員会として、JR東海及び山梨県等の関係機関から説明を受ける機会をつくること。

一 山梨県から示された需要予測に対しては疑問点があること。

一 最低限の交通結節機能整備を超えて、過大な公共投資が行われると将来にわたる財政負担を招く懸念があること。

平成26年11月14日は視察を行い、山梨県立リニア見学センターのほか、大型集客施設である御殿場プレミアム・アウトレット、新清水パーキングエリア等についてそれぞれ調査を行いました。

平成26年11月21日の委員会においては、中間報告について委員間において協議を行

いました。主な意見・要望は次のとおりです。

- 一 リニア中央新幹線が災害時に物資運搬等ができる体制を整備すること。
- 一 本市の活性化につながるよう、実験線を有効利用して本市までの早期開業ができるよう関係機関に働きかけること。

以上が、今日までの調査経過の概要であります。

国土交通省からリニア中央新幹線工事実施計画が平成26年10月17日に認可されたことを受け、JR東海が事業着手し、平成39年の開業に向けて測量、設計及び用地取得等の具体的な事業が進捗していくこととなりますが、本委員会は、今任期中、引き続き調査・研究を行ってまいります。

当局におかれましては、県との連携を更に図りながら、リニア駅周辺整備が円滑に推進されることを期待し、中間報告いたします。



お知らせ

神山玄太議員は、一身上の都合により平成26年12月31日限りで辞職されました。

議会運営委員会視察及び各常任委員会行政視察の状況

議会が閉会中でも、議案審査の参考にするため、調査活動を行っています。



議会運営委員会

実施日：平成26年11月17日～19日

○視察場所・視察項目

- ・三重県四日市市
 - ・奈良県奈良市
 - ・長野県松本市
- 「議会改革について」

総務委員会

実施日：平成26年10月28日～30日

○視察場所・視察項目

- ・新潟県三条市「デマンド交通“ひめさゆり”について」
- ・新潟県魚沼市「空き家等の適正管理に関する条例について」
- ・群馬県前橋市「中心市街地活性化基本計画について」



民生文教委員会

実施日：平成26年10月8日～10日

○視察場所・視察項目

- ・福井県福井市「体力・学力向上への取組について」
- ・石川県金沢市「金沢健康プラン2013について」
- ・兵庫県尼崎市「子ども家庭相談支援体制整備事業について」
- 「地域社会の子育て機能向上支援事業について」

経済建設委員会

実施日：平成26年10月28日～30日

○視察場所・視察項目

- ・愛知県豊橋市「中心市街地のまちづくりについて」
- 「豊橋総合動植物公園（のんほいパーク）について」
- ・愛知県名古屋市「名古屋駅周辺まちづくり構想について」
- ・滋賀県長浜市「黒壁が牽引した長浜のまちづくりについて」



環境水道委員会

実施日：平成26年11月5日～7日

○視察場所・視察項目

- ・兵庫県神戸市「太陽光とバイオガスのWエコ発電について」
- ・大阪府枚方市「浄水施設運転管理業務・高度処理について」
- ・岐阜県中津川市「流動床式ガス化溶融炉について」

甲府市議会だより編集委員会

《委員長》 斉藤憲二 《副委員長》 鈴木 篤

《委員》 岡 政吉 山中和男 植田年美 清水英知 山田弘之 飯島正樹

甲府市議会ホームページ・Eメール

URL <http://www.city.kofu.yamanashi.jp/shise/gikai/index.html>

Email gikai@city.kofu.yamanashi.jp



〈モバイル〉



〈フェイスブック〉